



おかだ

仙台市立岡田小学校
 学校だより 第15号
 令和3年2月25日
 TEL：258-1083
 FAX：258-2085
 児童数 176名

協働型学校評価重点目標

○明るいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉遣いができる子供

大好評！学校ホームページ・ブログ更新・公開中

令和2年度 岡田小学校 協働型学校評価アンケート結果について

昨年12月に「協働型学校評価アンケート」への回答にご協力いただき、ありがとうございました。遅くなりましたが、いただいたアンケート回答の集約結果概要をお知らせいたします。また、2月12日（金）に開催した令和2年度第2回学校評議員会・学校関係者評価委員会において、委員の皆様からも協働型学校評価重点目標への取組に関する成果と課題についてご意見を頂戴しましたので、併せてご紹介いたします。



これらの結果や学校運営についていただいたご意見を日々の教育活動の改善に生かしていくとともに、次年度の教育計画の参考とさせていただきます。引き続き、学校・家庭・地域の三者が協力して、子供たちを励まし、ともに育んでいきたいと考えております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、集約結果の詳細版については、学校ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

【項目1】友達や先生、ボランティアの方々に進んで「明るいあいさつ」をするようにしている。

(A：はい B：どちらかというとはい C：どちらかというといいえ D：いいえ)

	A	B	C	D
児童	77.1%	22.3%	0.6%	0%
保護者	37.2%	55.8%	7.0%	0%
地域	50.0%	25.0%	25.0%	0%
教職員	42.9%	50.0%	7.1%	0%

児童・家庭・教職員のいずれもA、Bを合わせると90%を超えており、岡田小学校全体として概ね明るい挨拶ができていると評価しています。コロナ禍による3か月間の休校により、学校を開始した6月は元気のない子供の様子も見受けられましたが、ご家庭における声かけや励ましのおかげで6月後半には皆、元気に登校するようになりました。校内においても委員会活動やたてわり活動等とおして児童同士が声をかけ合い、挨拶を交わしています。地域の皆様からも挨拶の言葉をかけていただくことで、自分たちの挨拶で地域の皆さんを元気にしたいと思うようになった児童もおります。引き続き、三者の重点目標として取り組んでいきたいと思っております。

【項目2】「ふわふわ言葉」を使うようにしている。(教職員：相手の気持ちを考えた言葉遣いができる)

(A：はい B：どちらかというとはい C：どちらかというといいえ D：いいえ)

	A	B	C	D
児童	57.7%	35.4%	6.9%	0%
保護者	18.9%	71.7%	8.7%	0%
地域	50.0%	50.0%	0%	0%
教職員	7.1%	78.6%	14.3%	0%

裏面につづく→

【項目3】「ちくちく言葉」を使わないようにしている。

(A : はい B : どちらかというとはい C : どちらかというといいえ D : いいえ)

	A	B	C	D
児童	53.1%	36.0%	7.4%	3.4%
保護者	16.5%	70.9%	11.0%	0%
地域	75.0%	25.0%	0%	0%

言葉遣いについて、「ふわふわ言葉」を使用しているとの回答は、児童・家庭・教職員いずれもA, Bを合わせて90%を越えています。「ちくちく言葉」を使わないようにしているとの回答は、児童・家庭ともにA, Bを合わせて90%弱という結果でした。ご家庭において、様々な場面を捉えて具体的な言葉を提示してお声がけいただいている成果と思われます。学校でも、道徳の授業をはじめ、教育活動全般において相手の気持ちを考えることや場に応じた言葉遣いについて指導しております。時々、言葉の意味を深く考えずに相手を傷つける言葉を使ってしまうたり、感情に任せて心ない暴言を吐いてしまったりすることもあります。今後も、お互いに思いやる気持ちを育みながら、言葉遣いについて具体的に指導していきます。

【項目4】学校は楽しい。

(A : はい B : どちらかというとはい C : どちらかというといいえ D : いいえ)

	A	B	C	D
児童	76.0%	16.0%	6.3%	1.7%

AとBを合わせると、92%の児童が「学校は楽しい」と答えています。多くの児童が安心して楽しく学校生活を送っている一方で、楽しくないと感じている児童が8%いることも学校として大きく受け止めております。岡田小のすべての児童が楽しい学校生活を送ることを目指して、より深い児童理解に努め、日々の授業をはじめとする教育活動を絶えず改善してまいります。

また、学校運営に関して、児童への交通ルールの指導や個別面談の実施、様々な学習機会の保障、更なる感染症対策など、多くのご意見をいただきました。次年度運営の参考にさせていただきます。

「交通ボランティア」「保護者ボランティア」「小1生活・学習サポーター」をはじめとする地域の皆様に、学校内外の様々な場面で子供たちを温かく見守っていただいていることも、児童にとって学校が楽しい要因となっています。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

学校評議員・学校評価関係者委員の皆様からのご意見

【挨拶について】

- ・アンケート結果や児童・中学生の姿から、挨拶の取組の成果や児童生徒の成長の度合いが見られる。
- ・ボランティアには挨拶するが地域の方には挨拶しない児童や、挨拶をしない大人も見受けられることから、引き続き声がけをしていく。
- ・挨拶運動は挨拶の意義や有効性を子供たちに考えさせてから実施するとよい。挨拶が身に付いてよいことを知ることが大事である。6年生がリーダーシップをとれるような仕組みも必要である。
- ・保護者も地区の交通当番に併せて挨拶運動を展開していくとよい。

【その他】

- ・6月に学校が再開したときは元気が無かったが、1週間後には子供たちの様子に変化してきた。学校の大切さを改めて感じた。
- ・「学校が楽しい」の項目で、「いいえ」「どちらかといえばいいえ」を足すと8%になる。昨年度より少し増えていると思う。コロナ禍ではあるが、学校・PTA・地域で何らかの対策が必要と考える。
- ・自転車の乗り方や歩行の仕方など、危険な場面も見られる。交通安全教室を実施してほしい。
- ・様々な取組に対して、より多くの保護者の協力が必要である。仕事等で忙しいとは思いますが、主語を変えて「私は・・・」ではなく、「子供は・・・」という視点で考えられるとよいのではないだろうか。